

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和元年12月3日

トッパン・フォームズ東海 グループ最大級の製造拠点が完成

2020.3
本社移転予定



“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組み 防災減災 × 地域成長 × 多彩なライフスタイル創生モデル

2019.11.1 静岡新聞

工場の概要

トッパン・フォームズ東海 袋井工場が操業開始



グループ最大級の製造拠点となったトッパン・フォームズ東海袋井工場は10月下旬、袋井市豊沢

- (1) 工場名称
トッパン・フォームズ東海（株）袋井工場
- (2) 所在地
袋井市豊沢2228番地の1
- (3) 敷地面積
77,073㎡
- (4) 業務内容
ビジネスフォーム（帳票類）、カード・RFID関連製品の製造、帳票類等の物流サービス
- (5) 従業員数
720人
- (6) その他
企業主導型保育園を併設
2020年4月開園（予定）

袋井工場には、本社・浜松工場のほか、静岡工場及びメディア工場が移転集約され、名古屋工場、川本工場（埼玉県深谷市）の製造機能の一部も移管する。

ビジネスフォーム（帳票類）製造のトッパン・フォームズ東海（鈴木進社長）の袋井工場が31日、袋井市の豊沢工業団地に完成し、操業を開始した。格稼働させる。

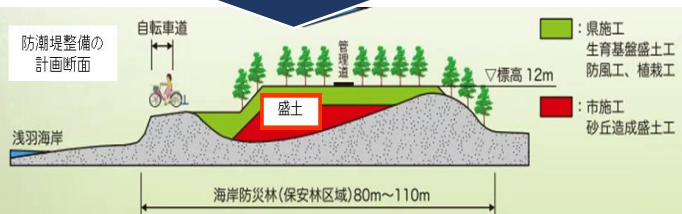
来年4月にはグループでは初となる従業員向けの保育園を施設内に開園し、労働環境の整備も進める。（袋井支局・中原僚介）

敷地面積は約7万7千平方メートル、延べ床面積は約4万8千平方メートル。構造は鉄筋コンクリートと鉄骨を組み合わせたハイブリッド造で、地上4階建て。従業員は720人。名古屋工場と川本工場（埼玉県深谷市）の機能の一部も移管。カード製品やICタグ、ラベルなどの関連製品の生産規模拡大とビジネスフォームの生産効率向上を図り、物流センターの併設で物流体制も強化した。

袋井市静岡モデル防潮堤整備と連動した次世代産業拠点創出推進区域



地域住民との協働で盛り土完成部分に植樹



災害時支援協定と環境保全協定を締結

同社は市内の豊沢工業団地に新工場を建設中で、市との協定は31日の完成に合わせて社会貢献の取り組みの一環。災害支援協定は、南海トラフ地震の発生時などに一時避難所や支援助物の保管提供などを行う。環境保全協定は、「市

袋井市は24日、ビジネスフォーラムなどを製造販売する「トッパン・フォームズ東海」と災害支援と環境保全に関する二つの協定を結んだ。



袋井市は24日、ビジネスフォーラムなどを製造販売する「トッパン・フォームズ東海」と災害支援と環境保全に関する二つの協定を結んだ。

「袋井工場」完成 関係者ら祝う

2019.11.30 静岡新聞

袋井工場完成 関係者ら祝う
トッパン・フォームズ
ビジネスフォーラム
(帳票類) 製造販売の



トッパン・フォームズで開いた。(坂田甲一社長)は27日、袋井市の豊沢工業団地に建設したトッパン・フォームズ東海袋井工場の完成式を同所

新工場の完成を祝って記念植樹する坂田甲一社長=27日、袋井市豊沢

2019.10.26 静岡新聞

市役所で行われた締結式で原田英之市長と同社の鈴木進社長が協定書に署名した。原田市長は「災害拠点として支援いただけること、周辺の生活環境は市民にたいして大変心配強い。環境に配慮した事業の推進についても

工場を集約し、カード製品やICタグなどの生産規模拡大やビジネスフォーラムの生産率向上を目指す。式典には同社や市の関係者ら約100人が出席し、記念植樹や工場の起動手などで完成を祝った。坂田社長は「ビジネスフォーラムを基本としながら、ICタグやIoTデバイスなどデジタルの領域にも挑戦したい」と新工場に期待を込めた。